

出版はとて手が出ないとお考えの方 お見積もりに参加させてください!!

当社からの自費出版例

エッセイ集



四六判 紙上製本240頁
1,000部

仕様
オフセット印刷
本文/ラフ淡クリーム 84kg
モノクロ1色印刷
表紙/みやぎの古染 130kg
モノクロ1色印刷

表紙カバー/コート 90kg・4色カラー印刷 PP 有
見返し/マーメイド 115kg
大扉/ぬのがみ 110kg・モノクロ1色印刷
帯/コート 110kg 4色カラー印刷
組版/文字データ支給 写真・イラスト/40点
表紙デザイン/支給

歌集



四六判 布上製本220頁
300部

仕様
オフセット印刷
本文/クリームキンマリ 72.5kg
モノクロ1色印刷
表紙/布クロス箔押し

表紙カバー/ミルトホワイト 76.5kg・4色カラー印刷 PP 有
見返し/ぬのがみ白
大扉/シャイナー雪
文章/手書き原稿支給 写真・イラスト/20点
表紙デザイン/支給

絵本



B5判 上製本24頁
50部

仕様
オンデマンド印刷

本文/マットコート 110kg 全頁4色カラー印刷
表紙/マットコート 110kg・4色カラー印刷
見返し/タント紙 110kg

地域文化誌



四六判 並製本198頁
1,000部

仕様
オフセット印刷

本文/クリームキンマリ 72.5kg
モノクロ1色印刷
表紙/ツムギ 210kg・モノクロ1色印刷
表紙カバー/ミラーコート 110kg・4色カラー印刷 PP 有
見返し/みやぎぬ 90kg
写真・イラスト/30点

写真はすべてイメージです

出版費用を書店販売等の売上で賄い方へ

世に出したい原稿があっても、出版費用が捻出できないために諦めてしまう方がたくさんおられます。出版の一般的な方法としては、一つに出版社の企画ものとして採用してもらうことにより、著者は出版費用を負担することなく、逆に印税収入を得ることができる商業出版の方法。一つは、出版費用を著者自らが負担して行う自費出版の方法。もう一つは、出版社と著者が費用分担して協同で出版する協力出版の三つのパターンが考えられます。最も望ましいのは言うまでもなく企画出版ですが、よほど売上が見込めるケースを除いて、採用されるのはきわめて難しいのが現状です。協力出版についても、中央の出版社などに依頼すると、実質的に費用面で自費出版と変わらない負担を強いられるケースが多いようです。自費出版は、出版費用を全額自己負担するので最も不利と思われ

がちですが、弊社で自費出版された方の中には、書店での売り上げや知人等への頒布代金で出版費用を賄われ、実質的に企画出版と同様の成果をあげた方もおられます。

それでは、持ち出しにならない出版のために、その分岐点となる売上部数は何部くらいだと思いますか？本の体裁により制作費が大きく変動しますので一概には言えませんが、弊社で標準的な仕様で出版された場合、おおよそ800部から1000部を売り切ることができたら、持ち出しは発生しない価格設定になっています。

もし、それ以上の売り上げが見込める方は、企画出版以上のメリットを享受できる場合もありますのでぜひ一度ご相談ください。

当社ご利用のお客様の声

記憶の引きだし

自分の本を持ちたい。漠然とそう思い始めたのは六、七年前のこと、会社の定年が二、三年後に近づいたころである。

私が随筆を書き始めたのは三十歳を過ぎてからで、三十年近くも書いてきている。あちこちに発表して活字になったものもけっこうな数になっていたし、未発表のものも手元にある。五、六十編にはなるから枚数は足りるだろうと思ってはいた。

そんなときツーワンライフ出版を知り、軽い気持ちで相談をした。平成十七年夏近くであった。

「作品を読ませてください」

活字になったものを探し出して送った。

まず作品の中身の吟味であった。

「いけます。出版しましょう」

費用も聞いていた2分の1、3分の1で済むと言う。こうして、平成十八年1月1日、拙書「記憶の引きだし」が出版された。

本はほぼ完売、多くの読者と書店とのお付き合いもできて、私の世界がまた広がった。

盛岡市 野中康行さん



縄文の風を感じて

私は二〇〇〇年六月二十三日「縄文の風を感じて」を自費出版させて頂きました。

一九九九年夏、遠野市綾織町で発掘された縄文遺跡の現地説明会に行きました。

広大な遺跡を観た時、タイムスリップした縄文時代の光景が脳裏に浮かび深い感動を覚え、一つひとつの遺跡を撮影しました。

それから何度も遠野へ足を運び取材を続け、関係書籍を読んだり、縄文時代に魅力を感じている恩師恩人等々のアドバイスで本が完成しました。

その結果、考古学に素人である者が作った本が文化庁の取り扱った書籍になり、新聞11社に掲載・NHK TVに出演と公に出る機会に恵まれたり、県教育委員会から某使命を仰せつかったりという思いがけない日々の連続でした。

細矢社長は私の体験のように飛躍へと導く出版アドバイザーです。ツーワンライフ出版は本づくりのエキスパート日本一だと私は思っております。今後も引き続きご指導を賜りたく存じます。

盛岡市 米山みどりさん



よくあるご質問にお答えします

Q1・本の見積もりを依頼すると、一式いくらというような見積書をもることがありますが、詳細な見積もりは出せないのですか？

A1・いいえ、そんなことはありません。弊社の場合、版下製作費、印刷製本費、営業管理費と大きく三部門に分けたうえで、さらに部門ごとの明細を示します。明瞭会計ですので、十分ご納得いただいた上で作業に入ります。

Q2・中央の出版社のケースで、全国の800書店にあなたの本を必ず並べますとのうたい文句で勧誘し問題になったケースがありますが、書店に本を並べることは、だれでも可能なことですか？

A2・残念ながら、本を作ったからといって、必ず書店が店頭に並べてくれるとはかぎりません。通常は、取次店を経由して書店に配本されますが、特に自費出版の本の場合、取次の段階で見本を提示しての審査がある場合もあります。取次店と取引のない印刷屋さんで本を作った場合、ご自分で書店と個別交渉する必要があります。

Q3・取次店の手数料はどのくらいですか？

A3・弊社と取引のある取次店は、岩手をメインに北海道、青森、秋田、山形、福島などのほか、全国の書店から客注があっても取り寄せができる東京の地方・小出版流通センターとも取引しています。手数料は本の定価の30%から34%となっていますが、実際に販売された販売された部数にのみかかります。

Q4・地方と中央では、本の製作コストや品質に差がありますか？

A4・本の品質と一口にいっても様々な観点での評価基準が存在していますので、一概には言えませんが、こと印刷品質については特殊な印刷物を除き、全くないと申し上げて差し支えないと思います。本の良し悪しを決める要因は、編集能力の優劣で左右されるものと考えております。一方、製作コストについては、格段の差がありますので注意が必要です。東京のB社の場合、A5判200頁並製本500部の見積もりをとってみましたが、200万円から250万円との回答でした。弊社の価格体系と比較すると、2倍以上の高い価格体系のようです。

特典 自費出版ご希望の方全員に無料プレゼント！

■ 失敗しない本づくりのために

これから出版をお考えの方々に、出版のイロハから、トラブルに巻き込まれないためのノウハウやお役立ち情報の概略をまとめた小冊子。

(当社代表執筆)



■ 私の出版体験記

当社で自費出版をされた方の様々な出版体験集です。



積算仕様 <データ持ち込みの場合>

本文／書籍用紙(クリキン)70kg 1色モノクロ印刷(文字組主体) 表紙／色上質最厚1色モノクロ印刷
 表紙カバー／コート紙110kg・4色カラー印刷 見返し／色上質厚口 写真・イラスト／20点以内

※表紙カバーデザイン、スリップ、帯、愛読者カード、しおりなどはオプションで承ります。

【A5版】並製本(ソフトカバー)の場合

部数 頁数	オンデマンド印刷(オフセットはオプションで可能)				オフセット印刷	
	50部	100部	200部	300部	500部	1,000部
100頁	183,000円	203,000円	240,000円	277,000円	425,000円	447,000円
150頁	250,000円	274,000円	321,000円	369,000円	520,000円	584,000円
200頁	315,000円	342,000円	398,000円	453,000円	631,000円	711,000円
250頁	379,000円	411,000円	475,000円	538,000円	741,000円	835,000円
300頁	444,000円	480,000円	552,000円	624,000円	852,000円	971,000円

【A5版】上製本(ハードカバー)の場合

部数 頁数	オンデマンド印刷(オフセットはオプションで可能)				オフセット印刷	
	50部	100部	200部	300部	500部	1,000部
100頁	205,000円	233,000円	299,000円	360,000円	498,000円	596,000円
150頁	273,000円	305,000円	381,000円	457,000円	609,000円	722,000円
200頁	339,000円	374,000円	459,000円	593,000円	728,000円	856,000円
250頁	404,000円	443,000円	538,000円	630,000円	838,000円	980,000円
300頁	470,000円	513,000円	616,000円	719,000円	959,000円	1,110,000円

■手書き原稿 オプション

手書き原稿をお持ち込みの場合は、別途入力料として、一字あたり、0.5円必要になります。

その他ご疑問の点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ローコスト出版支援センター

◆有限会社ツーワンライフ

〒028-3601 岩手県紫波郡矢巾町高田 8-141

フリーダイヤル **今すぐお電話ください!**

0120-698-234

TEL 019-698-2333

FAX 019-698-2334 (24時間受付)

◆メールアドレス / iihonnara@drive.ocn.ne.jp

◆ホームページアドレス

/http://iihon.com (現在準備中)

